

# 海洋教育パイオニアスクールプログラム

## 【成果報告書 1：海洋教育のデザイン】

1. 学校名 鹿児島県南九州市立松ヶ浦小学校
2. 活動テーマ名 「ウミガメ博士になろう！」
3. 実践の概要・ねらい

本校では、平成6年より23年間、地元のウミガメ保護研究会と連携し、卵の保護活動に継続的に取り組んできました。しかし、近年この活動が形骸化し、子どもにとって「当番作業」となりつつありました。そこで、本校ではこの活動の意義を見つめ直し、子どもたちが主体的に活動し、調べていくことができる学習環境の整備と単元の開発に取り組み、最終的には、ウミガメについての知識と経験が豊富な「子どもウミガメガイド」の育成を目指していきたく考えました。

### 4. 実践計画

#### (1) テーマ・概要・活動計画，教科等との関連

##### ア. テーマ

＜共通テーマ＞ 「ウミガメ博士になろう！」

＜サブテーマ＞ ◇第3・4学年「ふるさと松ヶ浦の海を知ろう」（複式学級）

◇第5・6学年「わたしたちと環境」（複式学級）

##### イ. 概要

- ① 年間指導計画の見直しを図り、学年発達の段階に応じた単元「ウミガメ博士になろう！」を開発します。
- ② ウミガメの専門家を講師に招聘し、計画的にウミガメ学習会を開催します。
- ③ 「ウミガメの日」を設定し、親子でウミガメに関する先進的な研究機関・団体等を訪れ、専門家の知識や感動体験を通して、児童の学習を深めていきます。
- ④ 従来、保護監視員のための役割であった海岸パトロールを子どもたちにも体験させ、実際の産卵場面や卵発見の機会を増やし、主体的な活動意欲を促進していきます。
- ⑤ ウミガメ保護の視点を出発点としながら、海洋環境保護についても関心をもたせ、海岸クリーン作戦などのボランティア活動につないでいきます。
- ⑥ ウミガメ放流会を開き、参加者の前で「子どもウミガメガイド」が、これまでに学習してきたことや保護から孵化までの様子、海洋環境保護の大切さなどについて発表します。
- ⑦ 新聞、コンクール等への積極的な作品応募やホームページへの情報発信に取り組みせ、本単元での学習成果を地域社会へ広く還元していきます。

##### ウ. 活動計画

- 4月 ウミガメの専門家を招いた学習会の実施(年2回)
- 5月 単元「ウミガメ博士になろう！」の学習を学年ごとにスタート
  - 〃 卵の保護活動スタート(～9月)
- 6月 「ウミガメの日」の実施(先進研究機関等の見学・体験)
- 7月 中間発表会，作品作り
- 8月 ウミガメ放流会実施
  - 〃 「子どもウミガメガイド(5・6年生)」による研究発表
- 9月 単元のまとめ

11月 学習発表会の実施

〃 「子どもウミガメガイド（3～6年生）」による研究発表

## エ. 教科等との関連

◇第3・4学年「ふるさと松ヶ浦の海を知ろう」4月～11月

→時数 27 時間（総合的な学習の時間 25 時間，創意 2 時間）

◇第5・6学年「わたしたちと環境」5月～11月

→時数 19 時間（総合的な学習の時間 17 時間，創意 2 時間）

※その他にも，社会科や理科，学校行事や地域行事等とも関連的な指導を行っている。

## (2) 実践の評価について

本単元実施に係る主なアンケート結果（記述コメント）を紹介いたします。

### ア. 職員による評価

- ・「ウミガメの日」や鹿児島大学の学生さんたちから学ぶことが多く，子どもたちの主体的な姿へとつながっているように感じる。
- ・かごしま水族館でウミガメについて興味深く学ぶことができた。実際にウミガメを見ることができたことは，子どもたちにとって印象深い体験だったと思う。また，絵本の紹介がこれからの子どもたちの調べ学習のヒントになったように思う。
- ・総合的な学習の時間について，学習発表会でのウミガメガイドの地域の方の意見（高評価を得た）が全てだと思います。
- ・「ウミガメガイド」に関しては，実践を積み上げていく中で，個人・グループごとに頑張りを称賛し価値付け，評価した。学習発表会でも多くの方々の前で発表することで自信につながったと思う。

### イ. 保護者による評価

- ・実際に体験する機会がとても素晴らしい。ウミガメ保護活動や「ウミガメの日」など，松ヶ浦小学校にしかできない学びがとても素晴らしい。これからもどんどん松ヶ浦小学校にしかできない学びに取り組んでほしい。
- ・松ヶ浦小学校でしか学べない活動をこれからもたくさん取り入れてほしいです。ウミガメガイドの発表がとてもよかったです。（参観に来ていた）他県の人たちにも自慢ができました。

### ウ. 地域の方による評価

- ・ウミガメの調査ガイドはよく調査している様子が伝わった。
- ・ウミガメの発表はよかった。中学年の皆さんは一生懸命な様子で声も大きく聞き取れました。パソコンの絵でも理解しました。
- ・ウミガメの研究や劇など本当によく練習されていたと思います。
- ・今年の発表は色々与实际に調査したことを発表して，とてもよかったと思います。

## 5. 今年度の実践

### (1) 計画からの追加・変更点

- ・「ウミガメの日」の視察先として，計画段階ではいくつか候補を挙げていたが，実際にはウミガメに関する専門機関が少なかったり，日程調整が難しかったりして，いくつか変更が生じた。
- ・児童による海岸パトロールや実際の産卵の見学等，より体験的・感動的な学びを計画していたが，児童の安全面を第一に配慮した結果，実現が厳しく断念した。
- ・当初は計画していなかったが，電子タブレットのより有効的な活用を図るために，助成金をもとに校内に無線LAN環境を整備することができた。

## (2) 実践の成果

### ア. 年間指導計画の見直しと単元「ウミガメ博士になろう！」の開発

#### ① 従来の保護活動

これまでの保護活動は大人主導になりがちで、子どもの活動意欲や課題意識は低いままでした。



地元保護研究会によるふ化場の整備(5月)



校内ふ化場への移植と地温計測(5~7月)



子ガメの放流会(8月)

#### ② 学年に応じた単元の開発

従来の保護活動に加え、子どもの主体的な学びを大切にした単元の展開を工夫しました。



オリエンテーションで課題を設定(4月)



単元「ウミガメ博士になろう！」(1~2学期)



ウミガメガイドによる成果発表(11月)

### イ. ウミガメの専門家を講師に招聘したウミガメ学習会の開催と学習環境の充実



保護研究会坂元会長(4月)



鹿児島大学ウミガメ研究会(6月)



ウミガメ関連図書の配備



タブレット PC と Wi-Fi の設

### ウ. ウミガメに関する先進的な研究機関や団体等の訪問・視察を通じた学習の深化



オリジナルTシャツと旗を作成

## 6月16日はウミガメの日

6月16日「世界ウミガメの日」にちなんで見学バスツアーを企画・実施しました。親子でふれあい、楽しく



親子で仲良くお弁当



鹿児島水産高校で視察&体験



かごしま水族館では特別授業やバックヤード見学などを体験



## エ. ウミガメ保護の視点を生かした海洋環境保護活動の展開

指宿海上保安所や地元ウミガメ保護研究会と合同で漂着ゴミ調査を実施しました。子どもたちは海外から流れ着いたゴミの多さに驚き、改めて、海は一つにつながっていることを実感し、いつまでも美しい海を守っていききたいという思いを深めることができました。



漂着ゴミ分類調査は今年で8年目を迎え、この他にも松ヶ浦地区海岸クリーン作戦は25年間続いています。

## オ. ウミガメ放流会の開催と「子どもウミガメガイド」による学習成果の発表

中学年の子どもたちは、1・2年生を対象にクイズやペープサート等で自分たちが調べたことを発表しました。高学年の子どもたちは、8月14日に実施した子ガメの放流会で参加者約150名を対象に学習の成果を紹介。また、11月の学習発表会では、3年生以上の子どもたち全員で地域・保護者の方々を対象に1年間の充実した活動の様子とこれまでの学習の成果を堂々と発表することができました。



## カ. 積極的な情報発信と学習成果の地域還元

本校の積極的な取組は、地元のテレビ局や新聞社に数多く取り上げていただきました。また、看板の設置により、本校が海洋教育に積極的に取り組む学校であることを大いにPRすることができました。



### (3) 次年度への課題

- 今回の助成によりウミガメに関する図書や機器も十分整備され、またウミガメに関する知識・理解についても、十分深めることができました。さらには、放流会や学習発表会において研究発表を行ってきたことで、学習の成果を原稿や資料、VTR等に記録・保存することができました。来年度以降は、この単元を教育課程にしっかりと位置付け、本校の特色ある教育活動として長年引き継いでいきたいと思えます。

## 6. 主な連携機関及び内容

### ◇知覧ウミガメ保護研究会

平成6年より23年間、本校のウミガメ保護活動（校内ふ化場の整備、卵の移植、放流会の実施等）全般に対する指導と協力をいただいています。

### ◇指宿海上保安署

毎年6月に実施している地元のウミガメの産卵場所となる海岸の漂着ゴミ調査（平成29年度で8回目を数える）を合同で実施しています。

### ◇鹿児島大学ウミガメ研究会

日曜参観日に企画した「ウミガメ特別授業」の講師として初めて依頼しました。当日は、ウミガメの生態について親子で楽しく学ばせていただきました。

◇鹿児島水産高校

親子研修視察「ウミガメの日」における視察先として協力いただきました。当日は、海洋環境についての講話や高校生の指導によるロープワーク体験を実施していただきました。

◇かごしま水族館

親子研修視察「ウミガメの日」における視察先として協力いただきました。当日は、館内見学はもちろんのこと、専門家によるウミガメ特別授業やバックヤード見学等も実施していただきました。

◇松ヶ浦地区公民館

ウミガメ放流会や学習発表会等の広報協力や発表会等への積極的な参加をいただきました。

# 複式3・4年「ウミガメ博士になろう！」

## 【実践のねらい】

本校は、薩摩半島の南端に位置し、日本有数の緑茶生産と特攻の地として知られる南九州市知覧町にあって、町内で唯一海岸線に面した学校でもある。豊かな自然に恵まれ、平成6年から23年間、ウミガメの保護活動に携わってきたが、最近ではこの活動が形骸化し、海洋教育の必要性を感じていた。

そこで本単元では、ウミガメについて詳しく知る「子どもウミガメガイド」の育成を通して、自ら調べ学んだことを主体的に情報発信できる子どもが育ち、地域の活性化にもつながると考えた。

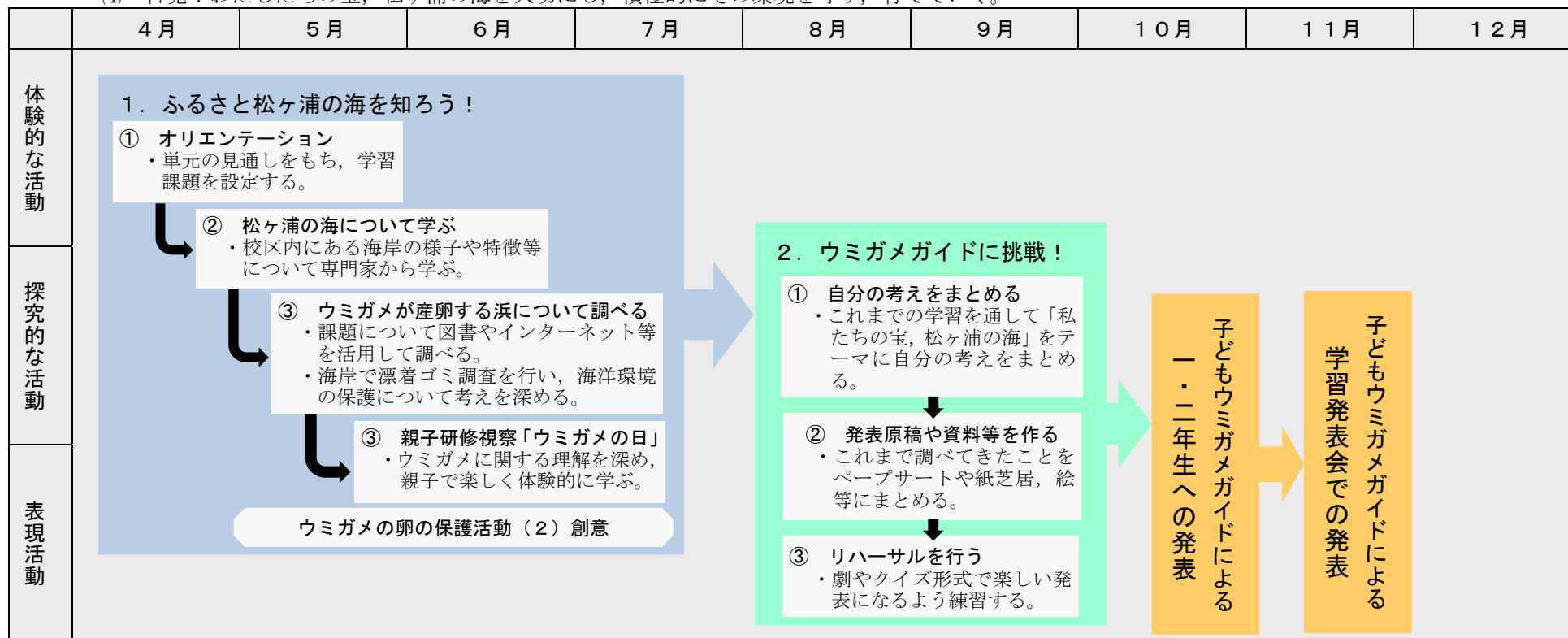
○時数 4月～11月 27時間（総合的な学習の時間25時間、創意2時間）

○関連 理科，社会科

- 目標
- (1) 問題解決の力：松ヶ浦の海の様子を調べたり、ウミガメの保護活動に取り組んだりする中で、松ヶ浦の海の自然の状況や自然保護の実情を知り、それらを解決するために見通しをもちながら、様々な方法で追求することができる。
  - (2) 学び方：課題の解決に向けた必要な情報の集め方や調べ方、まとめ方について知り、解決することができる。
  - (3) 態度：地域の海の自然環境に関心をもち、友だちと協力し合いながら活動し、地域の素晴らしい自然を守ろうとする。
  - (4) 自覚：わたしたちの宝、松ヶ浦の海を大切に、積極的にその環境を守り、育てていく。

## 【主な連携機関と内容】

- ・知覧ウミガメ保護研究会：ウミガメの保護活動
- ・指宿海上保安署：漂着ゴミ調査の合同実施
- ・鹿児島大学ウミガメ研究会：特別授業の講師
- ・鹿児島水産高校：海洋教育の体験及び見学
- ・かごしま水族館：特別授業の実施及び見学
- ・松ヶ浦地区公民館：各種行事への協力と参加



# 複式5・6年「ウミガメ博士になろう！」

## 【実践のねらい】

本校は、薩摩半島の南端に位置し、日本有数の緑茶生産と特攻の地として知られる南九州市知覧町にあって、町内で唯一海岸線に面した学校でもある。豊かな自然に恵まれ、平成6年から23年間、ウミガメの保護活動に携わってきたが、最近ではこの活動が形骸化し、海洋教育の必要性を感じていた。

そこで本単元では、ウミガメについて詳しく知る「子どもウミガメガイド」の育成を通して、自ら調べ学んだことを主体的に情報発信できる子どもが育ち、地域の活性化にもつながると考えた。

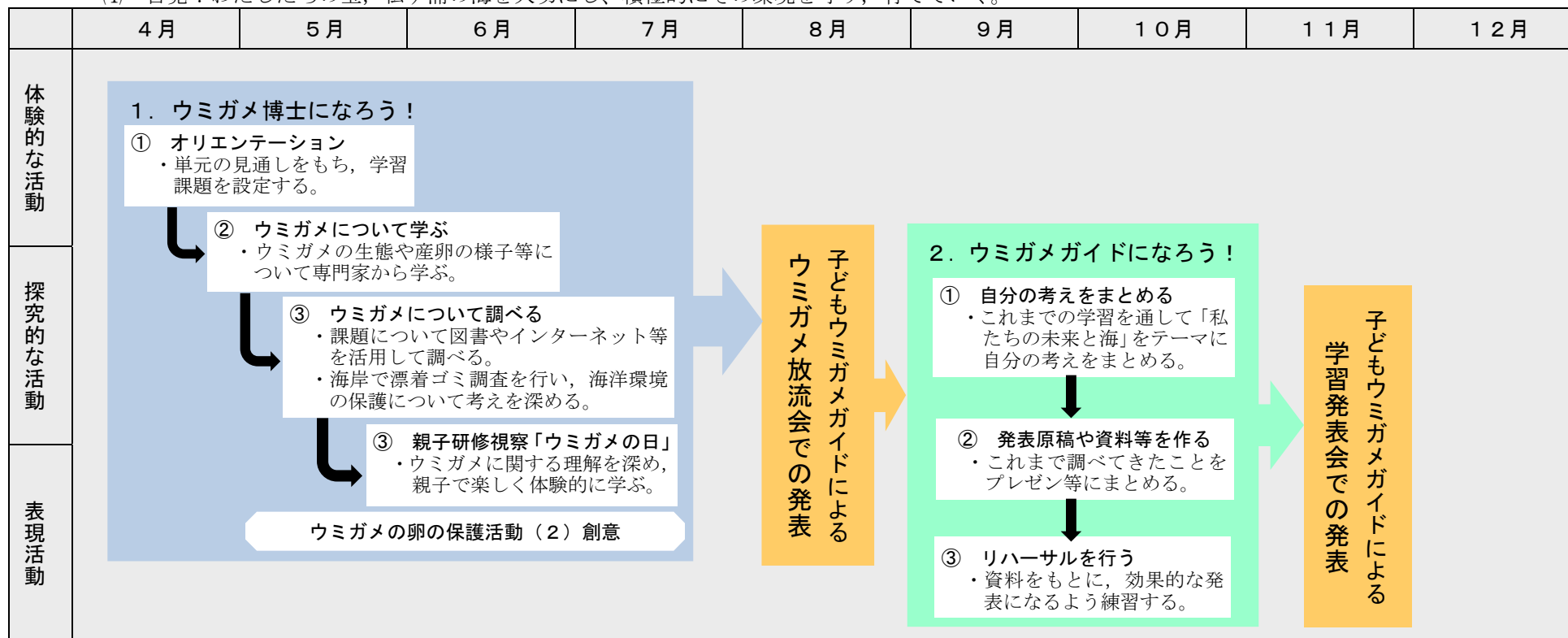
○時数 5月～11月 19時間（総合的な学習の時間17時間、創意2時間）

○関連 理科，社会科

- 目標
- (1) 問題解決の力：ウミガメについてより詳しく調べ、松ヶ浦の海の状況や自然保護の実情を知り、それらを解決するために見通しを持ちながら、ウミガメを保護する大切さについて人に伝えたいことを見つけ出すことができる。
  - (2) 学び方：課題の解決に向けた必要な情報の集め方や調べ方、まとめ方について知り、解決することができる。
  - (3) 態度：地域の海の自然環境に関心をもち、友だちと協力し合いながら活動し、地域の素晴らしい自然を守ろうとする。
  - (4) 自覚：わたしたちの宝、松ヶ浦の海を大切にし、積極的にその環境を守り、育てていく。

## 【主な連携機関と内容】

- ・知覧ウミガメ保護研究会：ウミガメの保護活動
- ・指宿海上保安署：漂着ゴミ調査の合同実施
- ・鹿児島大学ウミガメ研究会：特別授業の講師
- ・鹿児島水産高校：海洋教育の体験及び見学
- ・かごしま水族館：特別授業の実施及び見学
- ・松ヶ浦地区公民館：各種行事への協力と参加



子どもウミガメガイドによる  
**学習発表会での発表**